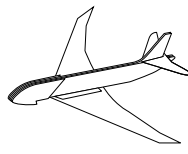
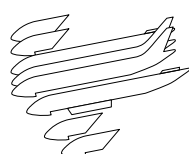


エアバスA321 紙飛行機



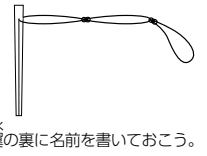
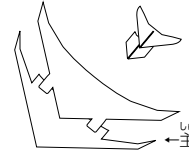
紙飛行機のつくりかた

- ① 胴体部分を切り抜き、すべて貼り合わせます。 ③ 胴体に主翼と水平尾翼を貼りつけます。



- ② 主翼、水平尾翼を貼り合わせます。

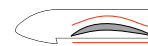
- ④ 割りばしと輪ゴムでカタパルトをつくります。



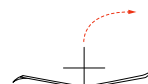
←主翼の裏に名前を書いておこう。

飛行機が飛ぶ仕組み

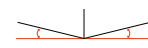
飛行機が飛ぶのは主翼の形状によって、揚力という下から上にもち上げる力が生まれるからです。



このような形にすると翼の上を流れる空気が速くなり下から上への力が生まれます。作った紙飛行機の主翼もこれにならって少し曲げてみましょう。



真っすぐ飛ばないのは主翼のねじれが原因です。例えば右下にまがってしまうときは図のように主翼がねじれている可能性があります。手で曲げて真っすぐに戻してみましょう。



このように主翼に少し角度をつけることにより飛行が安定します。



上に飛んでしまうと急降下する場合は水平尾翼を調整してみましょう。

